



ここにあるすべてを、
かけがえのない「宝もん」へ。

「ドローンから撮影した、上流の山地から下流の平野へと抜け出る阿賀野川」場所：阿賀町石岡／佐藤安男氏撮影

もくじ ●

地域再生の取組のデジタル化を加速する機会に

阿賀野川流域の新しい側面を
オンラインを通じて再発見するために

昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大に翻弄され、今年度の前半も深刻な流行が続きました。ワクチンの接種が進む中で、9月に入ってからようやく感染状況も落ち着きを見せ始めていますが、今後も予断が許されない状況は続くと思われ、私たちの暮らしへの影響は多かれ少なかれ避けられない模様です。

F M事業※1でも、年間に複数回開催していたイベントについて、今年度は対面式の座学やバスツアーを実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ、ネットを介したオンライン開催へ変更することを決断しました。

F M事業としても新しい試みとなりますが、昨年度から注力してきた「地域再生の取組のデジタル化」の一環になります。

今回のオンライン配信では、超小型の高性能カメラを備えたジンバル※2やドローンを活用して、イザベラ・バードや鳥の目線となつて、阿賀野川を上流から下流までくぐる中で、流域の光と影を共に学んでいきたいと考えています。オンライン開催ならではの企画のイベントとなりますので、この機会にぜひご参加ください！

※1「阿賀野川えとこだプロジェクト」のこと。詳細はP.8参照。 ※2動画を撮影するカメラの手ぶれを画面的に補正する機器

この情報誌は環境省の補助を受けて新潟県が発行しています。

特集1 阿賀流域再発見・連続ツアー講座2021 阿賀野川オンラインツアー2日間開催！ イザベラ・バードとドローンが眺めた阿賀野川 の歴史・文化・自然・現在、そして光と影 の道「阿賀の里」とイザベラ・バード 道	2
特集2 阿賀の宝もん★発掘レポート(第8回)	4
特集3 令和3年度パネル巡回展 阿賀野川流域 水との関わり・水の恵み インフォメーション	6
	8

第23回 新潟水俣環境賞作文コンクール

の作品を募集します！
募集 2021年10月1日～2022年3月31日
発表 2022年6月

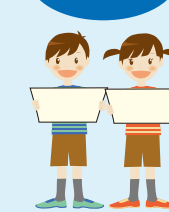
県内小・中学校の児童・生徒の皆さんへ

新潟水俣病や新潟県内の自然について思ったこと、身の回りの環境について考えたことや体験して感じたことなどを書いてください。皆さんの応募をおまちしています。

- 例えば、「新潟水俣病」「住んでいる地域の環境」「新潟の自然(森林・川・湖沼・海と環境問題)」「総合学習等で取り組んでいる環境問題」「水の安全、食の安全」について、体験したことや気づいたこと、考えたことを書いてください。
- 作文の応募はA4版400字詰め原稿用紙で、小学校1・2年生は600字～800字、小学校3・4年生は800字～1000字、小学校5・6年生は1000字～1200字、中学校1・2・3年生は1200字～1600字です。
- 優秀賞者には表彰状と図書カード1万円分を贈ります。佳作者には表彰状と図書カード3千円分を贈ります。
- 応募していただいた方全員に参加賞を贈呈します。

お問合せ先 ●新潟水俣病被害者の会 TEL025-281-2466 / FAX025-281-8101
(作文の送付先 ●〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-2 勤労福祉会館 3 階 新潟水俣病被害者の会)

第22回



受賞作品発表

第22回作文コンクールの授賞式が開催されました！

このコンクールは、新潟水俣病被害者の「こんな苦しみは自分たちだけでたくさんだ。子や孫と同じ苦しみを味わわせてはならない」という切なる思いから、次代を担う子どもたちに身の回りの環境に関心をもってもらおうと、新潟県内の小・中学生を対象に毎年開催されています。



優秀賞受賞者と作品テーマ

◆小学校3・4年生の部

「自然のおくりもの」
松本護也さん
(新潟市立豊田東小学校4年)

◆小学校5・6年生の部

「次は僕たちが後世へ語り継ぐ番」
勝見ゆずなさん
(新発田市立外ヶ輪小学校5年)

「日本人の責務」
鷺尾礼子さん
(新発田市立猿橋小学校5年)

◆中学校の部

「二律背反」
阿部由佳さん
(新潟明訓中学校2年)

「現在のわたしたちに必要なもの」
安田梨乃さん
(新潟明訓中学校2年)

主催：新潟水俣病被害者の会、新潟水俣病阿賀野患者会 後援：新潟県・新潟県教育委員会、新潟市・新潟市教育委員会、阿賀野市・阿賀野市教育委員会、五泉市・五泉市教育委員会、阿賀町・阿賀町教育委員会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日本経済新聞社新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX 新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、ほか

「阿賀野川えとこだプロジェクト」とは？

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

阿賀野川えとこだ！憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな価値を創造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確立へ向けて行動します。
(阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

編集後記

第33号はいかがでしたでしょうか？
今年も昨年と同様に、新型コロナウイルスの流行が続いているため、今年度はFM事業のツアーやイベントをオンラインで開催します。新しい試みとなりますので、ご都合がよろしい方はお気軽にご参加いただけますと幸いです☆

3月発行予定の次号もご期待ください！



今号表紙の写真「上流から下流へ」
阿賀野川が、上流の山々から下流の平野へと、蛇行しながら抜け出る地点を、ドローンから撮影した一枚。写真左に広がる集落は五泉市の咲花温泉街で、そのすぐ先に下流の平野に用水を提供する阿賀野川頭首工も見える。

阿賀野川えとこだより 第33号

発行：新潟県(※環境省補助事業) 発行日：2021年10月11日
企画編集：一般社団法人あがのかわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX. 0250-68-5424
aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川えとこだ!流域通信

<https://aganogawa.info/>

// えとこだよりのバックナンバーも見えます! //



阿賀流域再発見・連続ツアー講座
「阿賀野川ものがたり」2021

阿賀野川

イザベラ・バードとドローンが眺めた

【自然・現在編】

11/28(日)

15:00~17:30

▲ドローン撮影した阿賀野川(撮影:佐藤安男氏)



ドローンの視点で、阿賀野川の上流から下流まで下る
動画を見ながら、阿賀野川の自然・現在を語り合う



ゲスト

※他ゲスト参加予定

水の駅「ビュー福島
潟」事務局長

阿賀まちづくり
株式会社 代表

阿賀町農林課長

佐藤 安男氏

堀口 一彦氏

江花 一実氏

参加特典

当日ご覧いただいた10名様に抽選で、環境学
舎スタッフ厳選「阿賀野川流域の特産品詰め
合わせセット」をプレゼント!

ドローン視点から眺める
新しい阿賀野川の姿

上空高く舞い上がった鳥の
目線から、阿賀野川を上流か
ら下流まで下りながら飛行し
てみたい……そんな思いを叶
えた動画を、ドローンを使って
撮影します(※阿賀野川を要
所ごとに撮影)。

当日は、そんな夢のような
動画をみんなで眺めながら、
阿賀野川の自然や現在の取組
を様々な観点から、ゲストの
皆さんとともに語り合いたい
と思います。

オンラインツアー

阿賀野川の歴史・文化・自然・現在、
そして光と影

【歴史・文化編】

11/27(土)

15:00~17:30



イザベラ・バードの目線で、阿賀野川を上流から下流まで
下ったルートを見ながら、阿賀野川の歴史・文化を語り合う

ゲスト

※他ゲスト参加予定

新潟イザベラ・バード
研究会 代表

阿賀まちづくり
株式会社 代表

阿賀町農林課長

伊藤 頼子氏

堀口 一彦氏

江花 一実氏

参加特典

当日ご覧いただいた10名様に抽選で、新潟放
送・ラジオ朗読番組記念CD「イザベラ・バード
が見た明治の新潟」をプレゼント

イザベラ・バードのルートを辿ると
歴史・文化が見えてくる

イギリス人の旅行家イザベ
ラ・バードは明治初期に阿賀野
川を下って新潟に滞在しまし
た(※詳細は5ページ目を参照
願います)。

当日は、イザベラ・バードが
辿った当時のルートを、阿賀野
川の上流から下流まで下って
再現した動画をみんなで眺め
ながら、阿賀野川の歴史文化
を様々な観点から、ゲストの皆
さんと共に語り合いたいと思
います。



配信方法

●YouTubeライブ配信システムを使って、オンライン配信します(※アプリ等ダウンロードする必要はありません)。

お問合せ

一般社団法人
あがのがわ
環境学舎

一般社団法人

あがのがわ 環境学舎 ☎ 0250-68-5424 ✉ aganogawa@niigata.email.ne.jp

主催 ● 新潟県 後援 ● 新潟市・五泉市・阿賀野市・阿賀町 企画・運営 ● 一般社団法人
あがのがわ 環境学舎

協力 ● 新潟イザベラ・バード研究会 / 阿賀まちづくり株式会社 / 水の駅「ビュー福島潟」 / その他

参加費・定員

無料・各日50名

申込期限

2021.11/18(木)

申込方法

●右記QRコード(または下記URL)から、お申し込み願います。

URL: <https://forms.gle/7Hqnnqsi9d7xjbBo7>

●参加者を抽選にて決定し、当落結果のお知らせは申し込まれた方全員にメール等にてお知らせします。なお、当落結果のお知らせが11月22日(月)までに届かなかった方はお問い合わせ願います。

※いただいた個人情報は、「阿賀流域・連続ツアー講座」及び「阿賀野川エコミュージアムを目指す流域再生フォーラム」の開催案内や実施、及び、「阿賀野川えとこだより」の送付を目的とした用途以外に使用することはありません。

